

講座を拡充強化していくことは、勤労青年教育の充実のうえからも、新しい村づくりのうえからも非常に効果的と考えられる。

#### F 実験青年学級の委嘱

青年学級改善の具体的な方策を実際に即して研究するため下記の5学級を実験青年学級に指定、種々研究を試みた。

##### 委嘱青年学級

###### 東白川郡古殿町青年学級

職業教育（農業）を中心とした学年制による青年学級の運営

###### 相馬郡鹿島町青年学級

職業教育（農業）を中心とした学年制による青年学級の運営

###### 田村郡船引町青年学級

高等学校との連けいによる青年学級の運営

###### 河沼郡会津坂下町青年学級

年長青年を対象とした青年学級の運営

###### 信夫郡信夫村青年学級

職業教育（農業）を中心としたコース制による青年学級の運営

各地教委の協力により予期以上の成果を収め、青年学級体員改善をはかるための資料をうることができ、県下青年学級の振興に大きく役立った。

## 4 成人・婦人教育

#### A 婦人指導者講習会

6月30日～7月1日 南会津地区

会場 南会津郡下郷町 75名

7月8日～9日 県北地区

二本松市岳 207名

8月26日～27日 相双地区

原町市 120名

9月1日～2日 県南地区

石川郡石川町母畑 140名

9月12日～13日 県中地区

安積郡熱海町 130名

10月7日～8日 石城地区

常磐市湯本 100名

12月1日～2日 会津地区

耶麻郡熱塩加納村 150名

地域婦人団体の組織にからまる問題について検討を加え、その運営や活動が、会員一人一人の自己研修、相互研修に役立つには、どうあつたらよいかについてなどをねらいとして、婦人団体の中堅幹部及び将来指導者となる者の養成につとめた。

特に本年度は、各地域の特殊な問題が十分とりあげられるようにするために、実施細案については、開催地関係出張所の社会教育担当者が中心となり、開催ブロック別に協議の上企画立案した。

主なる研究主題としては

- ① より多くの婦人が、より幸福になるような婦人会の組織、運営、活動のあり方
- ② 実践的な学習活動を進めるためのリーダーのあり方
- ③ 婦人会と他の学習の場のからみあいを、どううけとめたらよいか。
- ④ 会員の自発性を高めながら、生活と地域社会を結びつけた活動を、どのように展開したらよいか。
- ⑤ 話しあいの中から、明るい人間関係りつくりあげるにはどうしたらよいか。
- ⑥ 家庭生活を向上させるための婦人の教養のあり方
- ⑦ 単位団体の基礎集団である部落活動の運営とその技術について

等をとりあげ、各地とも従来以上の成果をあげることが出来た。

講師としては、県内の実情にくわしい課内の指導係がこれにあたった。

##### 婦人教育の課題

栗原指導係長

##### 地域婦人団体の存在意義

一私たちの団体は<こんな団体ですよ>とはっきりいえる婦人団体にするために一 丹野社教主事  
問題提起

一地域婦人団体をとりまく問題一 渡辺社教主事補

#### B 両親教育研究集会

7月23日 県南地区 350名

会場 須賀川市立第一小学校

9月5日 相双地区 400名

原町市立原町第二小学校

9月16日 県北地区 350名

伊達郡保原町立保原小学校

11月16日 会津地区 400名

河沼郡坂下町立広瀬小学校

社会のはげしい変動にともない、成人教育のあり方についてもようやく世論が高まり、殊に青少年の健全なる育成をめぐる家庭のあり方等、PTAの活動を通してこれが推進されることは現下の急務である。

そこで、今年度の両親教育研究集会はPTAの成人教育活動のあり方を、現場学習をとり入れた実のあるものとして、大きな成果を得た。

それぞれのブロックごとにとりあげられた研究主題としては、

- ① PTAの仕事としての校外補導のあり方
  - ② PTAの成人教育活動としての教養活動のあり方
  - ③ マス・コミの発達は教育にどのような問題を与えているだろうか。
  - ④ 家庭における望ましい娘のあり方と家庭学習のあり方
  - ⑤ PTA一日入学のあり方
  - ◎プログラムのたて方
  - ◎教養を高めるための学習の内容
  - ◎運営のあり方
- 等々である。